

[Biochem. Pharmac., 28, 1089 (1979)]

**The Presence of Two NADPH-linked Aromatic Aldehyde-Ketone
Reductases Different from Aldehyde Reductase in Rabbit Liver**

HIDEO SAWADA, AKIRA HARA

ウサギ肝アルデヒド還元酵素と異なる2種の NADPH 共役芳香族アルデ
ヒド・ケトン還元酵素の存在

沢田英夫, 原 明

ウサギ肝細胞質より DEAE-cellulose クロマトグラフィーで3種の NADPH 共役アルデヒド還元酵素 (F₁, F₂ および F₃) を分離した。これらの酵素は分子量, ポリアクリルアミドゲル電気泳動における易動度, 至適 pH, 基質特異性および阻害剤の影響などの性状から異なった酵素であることを確認した。

F₁, F₂ および F₃ の分子量は Sephadex G-100 を用いたゲル濾過により各々33,000, 29,000および32,000と決定した。F₂ は芳香族アルデヒドと *o*-glucuronate の基質特異性およびバルビツール酸類による阻害からアルデヒド還元酵素 (E.C.1.1.1.2) と同定した。F₁ および F₃ は芳香族アルデヒド類よりも芳香族ケトン類に高い親和性を示す芳香族アルデヒド・ケトン還元酵素であり, バルビツール酸類では阻害されず SH 試薬により阻害された。